

議会だより はこね



1月14日 箱根町消防出初式 一斉放水

- 主な内容**
- 一般質問 P 2～6
 - 議員活動報告 P 10～13
 - 12月定例会・賛否 P 7
 - 意見交換会報告・
 - 委員会報告 P 8
 - 3月定例会の日程 P 14～15
 - カナダ・ジャスパー町報告 P 9
 - 長安寺・編集後記 P 16

町の考え方を問う！

一般質問

12月定例会では、町政全般について、9人の議員が、13項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、左の通りです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問内容	ページ
川口 延明	・災害発生時の避難について	2
勝俣 陽二	・箱根町における公共施設の更新問題について	3
折橋 尚道	・持続可能な町づくりについて	3
村野由紀子	・防災力の強化について ・火災予防対策について	4
遠藤 秀則	・ラーケーション制度について	4
鈴木 美貴	・若者定住の促進について ・町民生活の利便性向上について ・防災対策について	5
山田 和江	・物価高騰対策について ・住宅政策について	5
佐藤 章子	・町職員の早期退職について	6
稲葉親太郎	・町長所信表明 5点目「持続可能なまちづくり」について	6

※2次元コードを読み取ると、各議員の一般質問動画がご覧になれます。

避難所の改善状況

川口 延明 議員



町 国、県の方針に向けて努力する

問 石破総理は所信表明演説で「災害関連死ゼロを実現すべく、国際基準を目標に、避難所のあり方を見直す」と仰った。

一方、神奈川県は避難所マニュアル策定指針を令和4年12月に改訂した。これには災害発生から3日目までの初期から4段階に分けて課題を整理するようにしている。例えばトイレ問題、ごみ処理のルール作り、生活空間の公平な配分などが記されている。その策定指針に向けた取り組みの目標や進捗状況はどうか？

答 総務防災課長 神奈川県は、国の指針の改定等を受け、ライフライン被災時のトイレ対策や女性の視点を踏まえた避難所運営を行うこと。

「ライフライン被災時のトイレ対策」での町の対応は、使い捨てトイレの備蓄は予想される避難者の1日5回を基

準として備蓄1日5回の2日分となる2万2950枚へ増量。

簡易トイレは、20人に1基を基準として178基備蓄し、囲いのある簡易トイレを38基備蓄しているが、トイレの囲いを58基購入し半数以上が囲いのあるトイレを使用できるようにした。

また、女性の視点を踏まえた避難所運営等は、避難所運営委員会の構成に女性の参加を十分配慮する。男女のニーズの違いに配慮する。女性の視点を踏まえた避難所運営を行う。



開設された避難所の入り口

仙石原小学校の 建て替え・改良工事は？



勝俣陽二 議員



町

必要最小限の費用で、より効果的な環境整備を図る

問

令和10年度から始まる仙石原小学校の建て替え・改良工事については、現状の仙石原地域における出生数の推移の状況が、統計によれば令和になって以降、元年度は10人、2年度は14人、3年度は10人、4年度は8人と、概ね10人前後で推移している。また、建て替え・改良工事に関しては、多額の費用がかかる。このような状況の中、町は統廃合は考えないという方針の根拠と、この建て替え・改良工事のより具体的なコンセプトを地域住民に丁寧に説明し、住民の要望を聞きながら、住民とともに新しい地域の小学校をつくっていただきたいが、このことについて町の見解を伺う。

答

学校教育課長 仙石原小学校の整備にあたっては、箱根中学校と湯本小学校の長寿命化改良工事と同様に、保護者や地域の方々をはじめ、教職員、町関係職員で構成する検

討委員会を立ち上げ、様々な意見をいただきながら、仙石原小学校に通う児童が快適に学校生活を送ることができるようになるように、さらには、学校施設と親和性の高い他の公共施設との複合化も含めて検討しつつ、必要最小限の経費でより効果的な環境を図り、安全・安心な学校施設となるように取り組んでいきたいと考えている。



仙石原小学校

若年層世帯向け住宅支援



折橋尚道 議員



町

最良の住宅支援を検討していく

問

令和10年まで年平均4.6億円、それ以降単年度で約10億円の資金不足を想定している。早期に検討し備えるべき重要な課題である。

答

町長 行財政改革を行ってもし生じる財源不足に対しては「超過課税の継続」「第2期アクションプランの発行」「ふるさと納税」の強化で対応する。第2期箱根町公共施設再編・整備計画に位置付けた97施設を対象に、施設のあり方を見直した場合の財政効果等を踏まえ、対象の候補を抽出するとともに、具体的な方策の検討に着手する。

問

令和1～5年までの出生数と死亡者数の差は781名減となり、自然減だけなら令和5年で人口1万人を切るが、転入者があり人口減は抑制されている。人口ピラミッドのグラフでは、20歳から35歳までの男女が極めて多く示し、若者の流入が人口

答

維持の下支えとなっている。人口維持、子育て少子化対策として、若年層世帯に向けた住宅支援を検討すべきでは。企画課長 住宅の遊休物件活用や、近隣の山北町などでも若者・子育て住宅の整備で実施されている民間活力の活用など、あらゆる方法を研究しながら、本町にとって最良の住宅施策は何なのか、十分検討していきたいと考えている。



湯本幼児学園の子どもたち

防災備蓄の充実を！

村野 由紀子 議員



町

避難所の保存食等の備蓄を1.5倍に増量した

問 災害備蓄品や資機材の充実に
ついて伺う。

答 **町長** 県の地域防災力強化
事業費補助金を活用し避難所
の保存食・保存水・簡易トイレ・毛布
等の備蓄品を1.5倍に増量した。生理用
品、紙おむつ等は10年保存できる防災
用品に切り替える。資機材もポータブル
電源等の購入や避難所ごとに点検を
行い老朽化している発電機やチェン
ソーなど適宜更新する。

問 避難所の保存食等の備蓄品を
1.5倍に増量したと言う事です
が、前回の一般質問で3日分から内閣
府が示す1週間分に見直し、巨大地震
に備える必要性を質問した。1.5倍の増
量で何日分になる？

答 **総務防災課長** 能登半島地震
で避難者が想定以上に膨らん
だ教訓から、避難者1.5倍に対応できる
備蓄に変更。これまでの備蓄総数から

9780食を増量。神奈川県西部地震
を想定し、避難者400人及び帰宅困
難者2660人の合計3060人で計
算すると、1日3食分の9180食と
なり約1日分の増加となる。

問 能登半島地震では3週間以上
たってもアルファ米で、温か
い食事を提供出来ず課題となった。
前回の一般質問でも炊き出し訓練の
実施を質問したが、訓練の実施は？

答 **総務防災課長** 総合防災訓練
で女性の皆さんにガスコン
ロや釜を使用して味噌汁の炊き出しを
計画していた。
天候不良によ
り実施できな
かったが、今
後も計画する。



災害備蓄品

ラーケーション制度の実施

遠藤 秀則 議員



町

現在のところ導入する考えはない

問 「ラーケーション」とは、「ラ
ーニング(学び)」と「バケー
ション(休暇)」を組み合わせたもので、
学びを目的として休暇を楽しむことで
ある。働き方改革で、平日に休暇を取
る保護者が増えたことにより親子で過
ごす時間を確保するのが狙いであるも
の。そこで町として、この制度をどう
把握しているのか伺う。

答 **教育長** この制度は保護者
等「休み方改革」では効果的
な取り組みではあるが、教職員の「働
き方改革」にはならず、結果的に、子
どもたちの「学びの保障」への対応が
難しく現在のところ導入する考えはな
い。

問 学校において、欠席扱いにし
ない取り組みについて。

答 **学校教育課長** 学校では、基
本的に各家庭の意向を尊重す
ることとし、休む理由を確認し、申し

出のとおり欠席を認めている。
ラーケーション制度について、
保護者等への周知はできない
か。

答 **学校教育課長** 必要なことで
はあるが、「学びの保障」や
「家庭間の公平性」といった課題があ
るなど、総合的に鑑みて現在制度を導
入する考えはないので、保護者等へ周
知することは、かえって混乱させてし
まう懸念があるため、周知する考えは
ない。



移動スーパーのさらなる利便性 向上の検討は？

鈴木 美貴 議員



町 販売拠点増や臨時便の運行の実現に向け調整を進める

問 当初は、開始から3ヶ月をめぐりに運用を見直す方針だったが行われたか？

答 町長 各地区の移動スーパーは大変好評な実施状況となっており、販売担当者に販売状況と伺うと、他の地区に比べて農産品や水産品の売り上げ比率が高く、高くても良いものを要望する声が寄せられている。町として不足していた物品の供給につながっており、売り上げについても、マックスバリュ東海が運営している静岡県、神奈川県内の市町でトップとなっている。町内の各地域から販売拠点の追加の要望に応えるために、移動スーパーを実施している店舗で余力がある店舗の活用や臨時便の運行で販売拠点の追加が対応できるように、できるだけ早い時期に実現できるように調整していきたい。

問 本庁舎障がい者用駐車スペースへの屋根の設置の考えは。

答 町長 県条例では屋根については設置が望ましいと定められているが、駐車場自体の広さが十分でなく、駐車スペースばかりでなくスロープ部分にも屋根がないため、ご不便をおかけしていると認識している。今後、箱根町としてどうしていくか。

問 今後、箱根町としてどうしていくか。

答 財務課長 屋根のみの設置は難しい面があり、施設の大規模改修などの際に障がい者駐車場の屋根の設置を検討する方向としていきたいと考えます。



移動スーパーの様子

物価高騰対策、 「箱エールクーポン券」の配布を

山田 和江 議員



町 配布することは考えていない

問 今年7月、厚生労働省が発表した国民生活基礎調査で、生活が苦しいと答えた人は59・6%にも上った。実質賃金が減り、年金も減らされ、消費税も増税された。電気料金も県営の水道料金も上がった。主食であるコメの値段は2倍になって生活を脅かしている。住民から「生活が苦しい」という悲痛な声が届いている。当町の物価高騰対策について伺う。

答 町長 国から物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援するため、交付金を追加する旨が盛り込まれた物価高騰対策については早期の予算化に向け検討を進めるように依頼があったので具体的な検討を指示したところだ。

答 企画課長 今は、具体的な取り組みを申し上げる段階にはない。しかし、エネルギー食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者、事業者をしっかりと支えるという観点から、本町の实情にたらし効果的な支援策検討を進めている。

問 住民からこのような厳しい物価高騰の時に「箱エールクーポン券」を配布してほしいとの声が上がっている。

答 企画課長 全ての町民に対して、一律に配布することは考えていない。

問 検討中ということなので提案をした。厳冬期に向けて福祉灯油制度を箱根町でも行っていく考えがあるか伺う。



野菜の価格も高値が続いている

町職員の早期退職状況

佐藤 章子 議員



町

職員の人材育成に努めてまいります

問 希望をもって箱根町に入庁した職員の早期退職が続いている。町の将来発展のためには早期の退職（転職）を止めなければならぬと思うが、この問題に対する見解を伺う。

答 町長 職員の退職による人手不足が生じると、日々業務に追われスキルアップが図れなかったり、休暇の取得減少や長時間労働により、適切なワークライフバランスが図れず、更なる離職に繋がることも懸念されることから組織として大きな課題であると認識している。持続可能な町政の運営と発展には、それを担う職員の人材育成が必要不可欠であり、職員が箱根町に愛着心を持って働き続けて貰えるよう努めていく。

問 ここ数年の早期退職数の経緯は？

答 総務防災課長 令和3年度は20歳代が2名、30歳代が3名、40歳代が1名で、計6名。

4年度では、20歳代が5名、30歳代が5名、40歳代が2名で、計12名。
5年度は、20歳代6名、30歳代4名、40歳代4名で、計14名だ。

問 相談窓口は如何に？

答 総務防災課長 人事主幹管理課長の他、外部の第三者機関は職員自身が選択できる。



目指すべき箱根町職員像

財政として、持続可能な行財政運営実現

稲葉 親太郎 議員



町

現状の財政構造の下では、継続的に財源不足が生じる

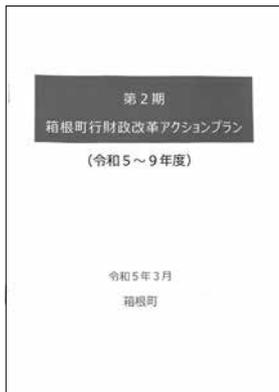
問 町長所信表明の重要項目の5点目「持続可能なまちづくり」の財政として持続可能な行財政運営の実現についての見解を伺う。

答 町長 令和4年度に中長期財政見通しを策定したところ、現状の財政構造の下では、継続的に財源不足が生じ、長期的に拡大していくことが見込まれる非常に厳しい状況が明らかとなったもの。

この状況に対し令和5年5月に策定した「令和6年度以降の財源不足への対応」では、「中期」と「長期」に事項を分けており、「中期」の令和10年度までは、超過課税は「税率1・58%を継続」した上で、なお不足する財源は、「ふるさと納税」の受け入れ体制を強化し、さらなる寄付額の増を目指すことで財源不足に対応していく。

また、令和11年度以降の長期については、中期よりもさらに2倍以上拡大

する財源不足に対応するために①超過課税の継続、②第2期アクションプラン実行を挙げた。さらに長期に備えた取り組みとして、「観光まちづくり財源などの財源確保策の検討」や「公共施設のあり方の抜本的な見直し」といった実現までに時間を要する事項の検討や準備を計画に位置付け、経過を確認しながら明確化していくことで、持続可能な財政構造の実現を目指す。



第2期アクションプラン

12月定例会 (11月28日～12月17日)

議決件数 (11件)

専決処分 (1件) 承認

令和6年度箱根町一般会計補正予算 (専決第1号) 専決処分の承認を求めることについて

補正額 3億1,430万5,000円

【主な内容】 衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査、ふるさと納税促進事業に係る経費等について

条例改正 (4件) 可決

- 箱根町職員の給与に関する条例及び箱根町非常勤職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
本年の人事院勧告による職員の給与改定等を行うため
- 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
人事院勧告による一般職の期末勤勉手当の支給割合の引き上げに伴い同様の措置を講ずる必要があるため
- 箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
特別職の職員の期末手当について支給割合を引き上げることに伴い議会議員の期末手当についても同様の措置を講ずる必要があるため
- 箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について
 - (1)町民税等の減免に関する規定の整備
大規模災害時の災害減免について、被災前の備えとして予め職権による減免を可能にするため
 - (2)固定資産税の課税標準の特例等に関する規定の整備
 - ①特定バイオマス発電 (※1) について、固定資産税額を減額する特例措置が創設されたため
※1 木竹に由来するもの又は農産物の収穫に伴って生ずるバイオマス (※2) を電気に変換するもの
※2 再生が可能なタンパク質や炭水化物などを含む生物。資源。主に木材、生ゴミ、ふん尿など
 - ②特定事業省内保育施設に係る固定資産税の特例措置の終了に伴う整備
子ども・子育て支援法に基づく政府の補助を受けた者が一定の保育施設の固定資産税を減免する特例措置が廃止されたことに伴う関係規定を削除

補正予算 (4件) 可決

- 令和6年度箱根町一般会計補正予算 (第4号) 補正額 13億3,789万1,000円
人件費追加 6,088万5,000円
ふるさと納税促進事業追加 6億1,070万9,000円
諸経常経費追加 306万9,000円
財政調整基金積立金追加 6億3,929万1,000円
心身障がい者福祉経常経費追加・更生減 797万2,000円
後期高齢者医療特別会計繰出金追加 805万5,000円
地域医療体制推進事業追加 500万円
道路維持経常経費追加 300万円
- 令和6年度箱根町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号) 補正額 84万1,000円
一般管理費追加 54万1,000円
特定健康審査等事業費追加 (人間ドック受診者増による追加) 30万円
- 令和6年度箱根町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号) 補正額 805万5,000円
後期高齢者医療広域連合納付金追加 805万5,000円
- 令和6年度箱根町温泉特別会計補正予算 (第1号) 補正額 147万7,000円
人件費追加 147万7,000円

人事案件 (2件) 同意

- 副町長の選任について 伊藤 和生さん (湯本在住) 再任
- 仙石原財産区管理会の財産区管理委員の選任について 岩本 節男さん (仙石原在住) 新任

議員別議案賛否一覧

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	鈴木美貴	勝俣陽二	佐藤章子	川口延明	勝俣剛一	村野由紀子	勝俣泰彦	稲葉親太郎	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	山田成宣	
75	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
76	箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
78	令和6年度箱根町一般会計補正予算 (第4号)	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
79	令和5年度箱根町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：議長は採決に参加しません。

委員会活動報告

箱根湿生花園 園内敷板（木道）交換工事現地視察

総務企画観光常任委員会 委員長 勝俣 泰彦



箱根湿生花園園内を視察

昨年の11月に箱根湿生花園園内敷板交換工事の現地視察実施後、観光施設の現状等について報告を受けました。

園内の敷板や木道は、利用者の安全確保のため随時補修等を実施しており、限られた財源の中で管理をしていることから、事業者による補修の他、園職員による直営作業で、維持補修作業を実施しているとの説明がありました。

各施設の現状及び今後の計画ですが、令和6年度入館者見込みは、前年度対比で、湿生花園は6.3%減少、森のふれあい館は11.3%の増加、ジオミュージアムは6.9%増加の見込みであり、特別展や企画展の開催に

つきましても各施設とも工夫を凝らして実施している状況が伺えました。

今後の計画においては、GPSを活用したガイドマップ等の導入、インバウンド向け外国語表記の充実、SNSを利用した広報活動等を計画しており、施設整備やイベントの充実、従来の情報発信ツールに加え、デジタルを活用した情報発信等に注力を頂き、更なる入館者の増加に努めて頂きたいと考えます。

健全運営！ 町営温泉・町営水道施設

教育福祉環境常任委員会 委員長 川口 延明



湯之花温泉施設にて

当委員会では令和6年11月12日に委員会を開催し「町営温泉、町営水道施設」の運営状況視察を行い、現地で所管課から状況の説明をうけたのち、意見交換を行った。

温泉の源泉地では温泉供給事業の歴史、温泉造成の仕組み、昭和38年の1号泉掘削成功（80℃、毎分90ℓ）からの歴史について説明を受け、特に昭和42年にプリンスホテルが蒸気井の開発に成功し、4年後の昭和46年には箱根町も町営1号蒸気井掘削に成功。85℃毎分430ℓの造成成功が現在の供給の基礎になっていること。

平成7年に現在の7号蒸気井が新工法で掘削され85℃毎分800ℓで現在までの29年間安定供給ができており、芦之湯から元箱根、箱根地区までの温泉事業として供給をしている。

特に今後の維持管理体制の重要性について再認識しました。

ジャスパー・箱根町姉妹都市 提携50周年記念式典を開催

11月2日に湯本富士屋ホテルにて、ジャスパーと箱根町の姉妹都市提携50周年記念式典を開催しました。

1972年7月4日にカナダ国立公園のジャスパーと姉妹都市の絆を結んで50年。ジャスパーのヘレン・ケレハー副町長、アルバータ州政府在日事務所 駐日代表デイリン・ブイリーンさんなどをお迎えして式典が開催されました。



式典では国の重要無形民俗文化財に指定されている「箱根の湯立獅子舞」を箱根仙石原神楽保存会の皆さんが演武。

悪魔を祓う「剣の舞」と仙石原だけに伝わる遊び神楽「剣呑みの舞」を披露し、江戸時代（1776年）から箱根に伝承される日本の伝統文化を堪能していただきました。



議 員 活 動 報 告



皆さんの日常的な活動に参加し、報告していきます。情報ください



10/23

箱根中学校文化祭

恒例の文化祭、校内には生徒さんの研究発表や作品の展示が廊下や教室に飾られていました。また、体育館で各クラスによるコーラスが催され、保護者の方々も真剣に聴いていた様子が見られました。

(折橋尚道)



10/19

第101回箱根駅伝予選会

第101回箱根駅伝予選会の応援及び誘客活動に行ってきました！とても暑くて、選手の皆さんも汗をかきながら頑張っていました。青山学院大学の原監督が写真に入って下さり、さらにテンション上がりました！

(村野由紀子)



11/2

箱根大平合もろより祭り

若手の有志が中心となって企画されたお祭り。雨天のため集会所での開催となりましたが、地元の方々と観光客が一体となって楽しんでいました。マジック・オペラ・ジャズの演奏や絵画や写真の展示や即売会が開催されました。

(折橋尚道)



11/2

岡田美術館 文化振興プログラム 国指定重要無形民俗文化財

「湯立獅子舞」演舞とワークショップ
宮城野「湯立獅子舞」が岡田美術館にて演舞を披露。獅子舞のルーツ、獅子頭や所持している刀などの話を参加しているお客様にわかりやすく説明されていました。

(稲葉親太郎)



11/15

家族介護教室（いきいき美容教室）

介護ホームでは、高齢者の入居者の方にメイクをして精神的な効用を促されているとのこと、メイクスタッフが化粧の指導をして下さいました。男性陣も参加され、和気あいの雰囲気の中で基本から仕上げまでご指導いただきました。（佐藤章子）

11/8~11

第63回 箱根町民文化祭

第63回町民文化祭が開催され、生涯学習に励んでおられる皆さまの学習成果が発表されました。華道、茶道、篆刻、窯、習字、絵画、エッセイ、短歌等々の展示や音楽室ではフラダンス、コーラス、フルート演奏も楽しみました。（佐藤章子）

11/15

湯本小学校 長寿命化校舎等 長寿命化改良工事

工事の進捗状況を確認するため、校舎・屋内運動場を視察し、教職員から現状について話を聞きました。校舎等の周りは囲まれ、薄暗く感じ工事の音も気になりましたが、児童や教職員は、環境に慣れて気にならないとのことでした。来年7月の完成が待たれます。（鈴木美貴）



11/20

男女共同参画講演会

男女共同参画講演会「アンコンシャスバイアスにきづこう」に参加！何かを見たり、聞いたり、感じたりしたときに、「無意識に“こうだ”と思いつくこと」これをアンコンシャスバイアスといいます。気づきや対処法など学びました。（村野由紀子）

11/21

仙石原夜間 避難訓練

11月21日午後6時から仙石原文化センターで夜間避難訓練が実施されました。当日、地震発生放送が流れ、67名が参加！安否確認や備蓄されているテントやトイレの組み立てなどを学びました。（村野由紀子）



11/14

車椅子バスケットボール体験講座

仙石原小学校の学校へ行こう週間（11月13～15日）、社会福祉協議会「福祉体験学習」での開催。キャプテンの長田さんから、児童や教職員にゲームを通じて、自分が貢献できる活動を見出し、実践しようとする姿勢を育て、人を思いやる気持ち、協力する大切さに気づいてほしいと語られました。（鈴木美貴）





12/1

ふれあい会食会

当日は、のど自慢大会に参加された方々の歌声を聴いた後、おいしいお弁当を食べ、みんなでなつかし昭和のヒット曲を歌いました。

(勝俣陽二)

12/14

第4回交通安全総ぐるみ大会

町内の交通安全の推進と事故防止を図るために開催されました。交通安全功労者の表彰とポスターコンクールでの優秀作品の方々の表彰がありました。最優秀作品は箱根中学校1年・稲荷鈴々さんの作品でした。

(折橋尚道)



11/29

観光振興議員連盟講演会

内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局審議官 北尾昌也氏を講師にお招きし、「新しい地方創生について」をテーマにした観光振興議員連盟講演会を開催しました。当日は、これまでの地方創生についての国の取り組みや今後の課題についての講演で、大変有意義な時間でありました。

(勝俣陽二)

12/1

温泉体育協会グランドゴルフ大会

肌寒くなってきましたが天気にも恵まれて、約50人もの地域の方々がグランドゴルフを楽しみました。親子連れでの参加も多数あり、ゴルフに馴染みのない方でも真剣に取り組む様子が見られました。

(折橋尚道)



12/15

箱根町子育てシェアタウン

箱根町子育てシェアタウン「はこねっこ・みまもるーむ」が湯本山崎集会所で開催され、1～12歳の子どもと保護者が集まり、クリスマスツリーの絵に色を塗って飾りつけを行いました。報徳食品支援センター（フードバンク）提供の食品で作ったお弁当と豚汁でお昼ご飯を食べ、出張駄菓子屋さんで買い物をして楽しんだところに、サンタクロースからプレゼントを貰って大喜びでした。

地域のみながくらしや子育てで困った時に頼り合えるコミュニティをつくる取り組みを目指して毎月1回開催。広報はこねに案内もでています。(鈴木美貴)



12/1

仙石原文化センターまつり

当日は、屋外ではキッチンカーや模擬店の販売、ホール内では、のど自慢大会、作品展示や吹奏楽演奏・日本舞踊・民謡などの舞台発表が行われ、大勢の人々で賑わいました。(勝俣陽二)



令和7年箱根町新春の集い

湯本富士屋ホテルにて行われた新春の集いでは、令和6年度自治功労者として、寄木細工の振興と発展の功績により「本間昇氏」、住民福祉の向上に尽力した功績として「内田良雄氏」「菅井清登氏」が表彰されました。

特別アトラクションとして、岡田清香氏（町内在住）のヴァイオリンと園田紘子氏（小田原市在住）のピアノ演奏に参列者から惜しみない拍手が送られました。（鈴木美貴）



埼玉県川島町議会視察

11月22日には岩手県雫石町、今回は川島町が視察に来てくれました。箱根町議会の議会改革と広報広聴の取り組みなどについての話をして、それぞれの町の取り組みについて意見交換を行いました。（折橋尚道）



箱根町20歳を祝う会

湯本富士屋ホテルで「繫」をテーマに、20歳代表・金子輝理さんによる感謝のことが述べられました。第2部交流会「必笑～笑う式には福きたる」では、小・中学校の恩師 によるスピーチやビデオレターが披露され、さらにチョコレートプラネット松尾さんのメッセージで盛り上がりしました。抽選会では当選者が決まると歓声やため息が起きました。（鈴木美貴）



歳末火災特別警戒 町長特別巡視

町内全消防機関の警戒体制の強化と、町民等の防火意識の高揚を図り、火災発生の未然防止のため、12月26日に消防11の各分団と消防本部に対して、歳末火災特別警戒町長特別巡視が実施されました。議会からは、山田議長と総務企画観光常任委員会勝俣委員長が参加し、各分団に感謝の言葉や激励を行いました。（勝俣泰彦）



箱根町消防出初式

新春恒例の消防出初式が挙行されました。例年は湯本小学校校庭にて実施していますが、長寿命化改良工事により使用できず、湯本富士屋ホテルにて式典を開催しました。59名の方々が日頃の消防活動の功績に対して表彰を受けられました。（折橋尚道）



箱根駅伝往路表彰式

第101回箱根駅伝は冬としては暖かさを感じる中で大会を迎えました。箱根町では例年同様、伝統工芸の寄木細工トロフィーを往路優勝校に勝俣浩行町長が贈呈しました。今回のトロフィーはパリ五輪・パラリンピックのエッフェル塔をイメージしたものでした。また、花束が新成人の前鶴 閑さんから贈られました。（川口延明）

仙石原地域有志との

意見交換会

実施日時 令和6年11月11日 19時開催
 場 所 星槎学園会議室
 参加者 町民参加者29名 議会議員14名

今回の意見交換会は新しい試みとして、事前に代表の方々とテーマを定めて議会側からそのテーマに沿って現時点での議会・行政の取り組みを紹介して、お集りの皆様からご意見を頂戴いたしました。その場においてお答えの出来なかった課題に対しては、後日レポートにして、お渡しいたしました。



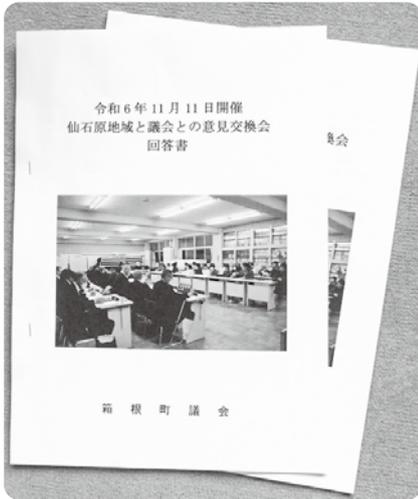
司会 鈴木邦子さん



みなさん真剣に聴いていました

事前に定めた話し合いのテーマ

- ①民泊と大規模開発
 - (ア)増え続ける民泊に対する抑制
 - (イ)民泊の騒音対策
 - (ウ)地元住民とのトラブルの解決方法
 - (エ)大規模開発に対する地元の不安
- ②地域コミュニティ・人的交流
 - (ア)自治会への参加減少
 - (イ)町だより・議会だよりの配布
 - (ウ)防災訓練などの参加
- ③町の防災
 - (ア)自宅から近距離にない避難所
 - (イ)ホテル・旅館との協定
 - (ウ)ファーストミッションボックスとは何
 - (エ)ハザードマップの見方
 - (オ)自治会・消防団・行政との連携
- ④交通手段・コミュニティバス
 - (ア)移動に関する問題の解決
- ⑤救急・医療体制の充実
 - (ア)救急活動の現状と課題
 - (イ)医療機関の不足
 - (ウ)1.2.3.次医療のすみわけ



提出したレポート



テーマに沿った議会側からの説明



議員と話し合いをしませんか

【意見交換会の募集】



- グループでの参加となります
(少人数でもかまいません)

〈申し込み方法〉

- 議会ホームページより、申込用紙をダウンロードして
議会事務局宛てに郵送
- FAX・メールにて申し込み

お問い合わせは議会事務局

議会事務局 ☎85-9570

✉ web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp

3月定例会の日程 (予定)

本
会
議

2月20日

3月3日、6日、7日、11日、13日、17日、18日

※ 2月13日開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。
詳しくは、議会事務局 (☎85-9570) までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの
議会カレンダーをご覧ください。

箱根町百景めぐり



龍虎山 長安寺は延文三年（1356年）箱根姥子山長安寺として創立されましたが、老朽化に伴い、明暦元年（1655年）現在の仙石原に、機山勞逸大和尚により開山されました。その後、享保年間に姥子が元箱根の領分になったので山号を龍虎山と改められました。



五百羅漢について

昭和60年に制作を開始した五百羅漢は現在300体を超えており、今もなお500体を目指しております。

羅漢とはお釈迦様の弟子で、仏道修行をして阿羅漢という人間として最高の位を得た方です。

その姿は喜怒哀楽の表情を浮かべた、実に人間味のある仏様です。（投稿者・勝保陽二 写真提供・佐藤充）

それぞれの表情に、何を感じますか。



自分に似た羅漢さんを探しに行きませんかー

編集後記

議会だよりモニターを務める元新聞記者の三木英明さん（写真前列左から2番目）にお越し頂き、議会だよりの編集・制作等について勉強会を開催しました。紙面の構成や文字の活用、タイトル・見出しのバランス等を教えて頂きました。議会を身近に感じてもらい、より分かりやすい議会だよりをお届けできるよう取り組んで参ります！（村野由紀子）



広報広聴委員会
 委員長 村野 由紀子
 副委員長 折橋 尚道
 委員 鈴木 美貴・勝保 陽二
 佐藤 章子・勝保 泰彦
 印刷所 / (有)石橋印刷